

## 2020年度 胃ろう・栄養外来 グループ外来（デモ・オンライン版）を開催しました！

昨年度から新たな試みとして始めたグループ外来、今年は年間3回の開催を予定していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合型のグループ外来の開催ができずにいました。

もとはと言えば、「ペースト食の作り方のコツを知りたい」「調理についてうまくいかないものの理由が分からない」、こんな声を当外来で耳にしており、“みんなで集まって知恵を出し合おう！”ということから始まった当グループ外来。感染症が猛威を振るっている間も、毎日食事は続いていき、それが患者さんを含む皆さんの身体を作っていきます。

そこで企画した、当外来オンライン版ですが、初めての試みのため色々クリアしなければならないことがあり、ご協力をお願いする必要もあったため、まずは試行版（デモ版）として行うこととしました。当初は2月に予定し、始まったものの、自宅でみている患者さんの中でうまく視聴することができない方が複数いらっしゃり、一度は断念、各原因を調べ、テスト接続を繰り返し何とか2021年3月5日、3月29日に分けて無事開催することができました！

調理実習一試食が難しいことから、今回は「重症心身障がい児者の方の栄養について」の話と動画を交えた「とろみ剤・ゲル化剤について」の話をメインとした、講義形式となりました。その後オンライン交流会を行い終了としていますがこの度参加して下さった方々からのアンケートを頂きましたので報告します。（一部個人開催の方を除きます）

最後になりましたが、今回の開催に当たっては、何度もテストに付き合ってく下さった参加者の方々、アプリインストールから接続関連の事務作業を一手に引き受けて下さった総務部の方を筆頭にすべての関わって下さった方々に感謝申し上げます。

来年度は、現時点でオンライン胃ろう栄養・グループ外来を2回予定しています。また感染症対策の兼ね合いが強いものの集合型も状況に応じて開催したいと考えています。詳細は決まり次第HP他で告知いたしますので、興味のある方、胃ろうからの栄養に困っていらっしゃる方、奮ってご参加ください。また、例月の「胃ろう・栄養外来」ではペースト食のすすめ方を含めた個別の相談に応じています。



# アンケート集計結果

## 1、Cisco Webex というアプリを今回使用しましたが、このアプリについて

- ・従来から利用していた方は少数でしたが、一部初期設定は当院スタッフからも説明の上使用には特に困った点やトラブルはなかったとのことでした。

## 2、今回は講義形式の話を2題、その後に交流会（合計1時間）を行い、スタッフを入れて12名の参加で行いました。

- ・交流会はあった方がいいという意見が多かったものの、質問は個人的に行えるとよいのご意見を頂きました。
- ・時間はちょうどいいやや物足りないというご意見があり、また人数もこの程度もしくはもっと増やしてもよいのではというご意見を頂きました。
- ・講義内容についての分かりやすさは、難しすぎず、簡単すぎずちょうどよいというご意見を頂きました。

## 3、当グループ外来の開催形態について

- ・集合型—オンライン型の併用を希望される方が多い様子でした。

## 4、今後取り上げてほしい内容について

- ・とろみ剤・ゲル化剤などのコストパフォーマンスの比較
- ・便利な栄養周辺機器（いわゆる便利グッズ）の紹介
- ・オンラインでも、皆さんのペースト食の作り方や、知恵等の共有

また、その他のご意見としては、オンライン環境ということもありますが質問しづらい雰囲気を感じられた、参加者のPCあるいはスマホのある位置により雑音が目立った、事前に配布させていただいた配布資料も有用だった、などのご意見を頂きました。来年度もこのグループ外来は継続していく予定です。今回のご意見を真摯に受け止め、より良いものにしていきたいと思っております。

(文責 小児外科 当外来担当 毛利純子)